



＜今宿小学校学校教育目標＞

☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆

- い ○いきいきとした心と体をつくる子（体）
- ま ○学びをいかそうとする子（知）
- じ ○自分とみんなを大切にする子（徳）
- ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子（公）
- く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子（開）



今宿小学校 WEB ページへ

心のバリアフリー（自分とみんなを大切にする子）

校長 島田恒弘

9月24日の朝会で、「横浜こども会議」の報告と呼びかけがありました。7月から「だれもが居心地のよい学校」について今宿中学校ブロックで話し合ってきました。「居心地のよい」について、「安心できる」「楽しい」「仲がよい」などがその姿だと子どもたちは話していました。その取組を
実現していこうと、中学校生徒代表と本校児童代表が朝会で全校に呼びかけたのでした。児童会目標「スマイル無限大」とタイアップして活動
していきたいと思います。



9月10日の朝会では、「人権について考えよう」という職員による劇を行いました。人権と言っても難しいことではなく、相手に嫌な思いをさせないようにすること、相手を尊重するという事です。年齢、性別などによって相手を侮辱するような言動をしてはならないということについて考えてもらいました。

来年オリンピック・パラリンピックが日本で開催されます。パラ選手やパラ種目が紹介されたり、バリアフリーについての番組が作られたりしています。その中で「心のバリアフリー」という言葉が素敵だと思いました。ハンデキャップのある人にとっての①物理的バリア②制度的バリア③文化・情報面でのバリアは、法律や施設改善で進んでいるけれど、④意識上のバリア（心ない言葉、偏見や差別、無関心など）を取り除くこと（心のバリアフリー）が今後もっと必要だということでした。学校やまちで、「心のバリアフリー」に取り組んでいけたらと思います。ご理解とご協力をお願いします。



「横浜子ども会議」とは、「だれもが居心地のよい学校づくり」をテーマに児童生徒主体で話し合いを進める取組です。今宿小学校ではその実現のために、ふれあい班・ペア学年での活動、各学級でのあいさつ運動、スマイルサポーター（朝会時のあいさつ担当）等に取り組んでいます。ふれあい委員会代表児童から、こうした今宿小学校の取組の紹介と「これからもよい今宿小学校にしていきたいと思います」というメッセージが伝えられました。

これからも子どもたち自身の思いを大切に、家庭、地域のみならず力を合わせて、「居心地のよい学校づくり」に努めていきたいと思います。

児童支援等任 前山 健